



今こそ力を合わせたい。  
私たちの守りたいものが、  
この先も続していくように。

一人ひとりがつながり、お互いに支え合い、  
誰ひとり取り残すこと無く、未来へつなげていく。  
そして、みんなの暮らしを良くしていく。

JJAの協同組合精神と、SDGsの理念は深いつながりがあります。

地域に根ざし、地域と共に歩んできたJJAグループの取り組みは、  
これまでと何も変わりません。

世界中がSDGsの目標達成に向けて力を尽くす中、  
私たちの取り組みはさらに大きな意味と責任を持ちます。

JJAグループは一体となって、食と農を基軸とした  
総合事業のサービスを提供し、地域の食・農・くらしが  
いつまでも持続可能であるように、皆さんと共に歩んでいきます。  
決して無くしてはいけないものを、しっかりと未来につなげていきます。  
豊かでくらしやすい地域共生社会の実現に向けて。  
地域の皆さんと、手を取り合って。

---

JJAグループが取り組む、地域に根差した活動

---

 あんしん

日本の食の  
安全・安心に  
努めています

 だいち

地域の農業を  
コーディネート  
しています

 くらし

豊かで  
安定したくらしを  
サポートしています

 たすけあい

高齢者や家族の  
生活・健康を  
支えています

 みどり

日本の美しい  
自然・環境を  
農業で支えています

 みらい

子どもたちに  
食と農の大切さを  
伝えています



耕そう、大地と地域のみらい。

 JAグループ

Q JAグループ



国産を選ぶ。  
それは、  
未来へつながる  
お買い物。



『国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産する』。この考え方を「国消国産(こくしょうこくさん)」といいます。これは、私たちの何気ない日常を彩り、生活を支えてくれる豊かな「食」を明日へつないでいくために、一人ひとりがきちんと向き合い、考えなくてはいけない重要なテーマだと、JAグループは考えています。

日本の食料自給率は依然として過去最低水準です。もし、世界的な気候変動や人口増加による食料不足で、様々な国が輸出を制限してしまったら、私たちの食生活はどうなってしまうでしょう。日本の農業は、担い手の高齢化・減少が進み、耕されず荒れてしまった農地が増えています。農畜産物は短期間で生産を増やすことが難しく、一度荒れた農地を再び

生産できる状態に戻すには、長い時間と大変な労力が必要です。さらに、農業・農村には、洪水等の災害から街を守り、多様な生き物の住み家になるなど、食べ物を生み出すほかに多くの役割がありますが、これらの役割を維持することも難しくなってきています。

このように、いま、日本の食・農は多くの課題に直面しています。その課題を解決するためにも、「国消国産」はとても大切な考え方です。

JAグループは、皆さんの豊かな食生活を、そして、日本の農業を、持続可能でより良いものとするため、「国消国産」に取り組みます。皆さんも一緒に、国産の農畜産物を食べて・飲んで・応援して、大切な日本の食・農を、未来へつなぎませんか。



耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

Q JAグループ

